



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486

URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

平成28年第2週(1月11日~1月17日)

2016年1月19日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※ :警報レベル

 :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)	
	第1週	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減		第1~2週
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)			(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	9964 2.02	88 1.83	113 2.35	▲	32 1.60	46 2.30	▲	6 1.20	10 2.00	▲	39 3.90	41 4.10	▲	11 0.85	16 1.23	▲	201	
小児科定点 (定点医療機関数)			(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	3630 1.16	16 0.53	7 0.23	▼	7 0.54	2 0.15	▽	1 0.33	2 0.67	▲	8 1.33	3 0.50	▼				23	
咽頭結膜熱	1696 0.54	25 0.83	17 0.57	▽	16 1.23	7 0.54	▽				3 0.50	3 0.50		6 0.75	7 0.88	▲	42	
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6771 2.16	136 4.53	196 6.53	▲	57 4.38	71 5.46	▲	4 1.33	15 5.00	▲	56 9.33	75 12.50	▲	19 2.38	35 4.38	▲	332	
感染性胃腸炎	24300 7.74	336 11.20	300 10.00	▼	161 12.38	116 8.92	▽	21 7.00	7 2.33	▽	84 14.00	109 18.17	▲	70 8.75	68 8.50	▽	636	
水痘	2736 0.87	28 0.93	12 0.40	▽	20 1.54	6 0.46	▽	4 1.33	1 0.33	▽	2 0.33	2 0.33		2 0.25	3 0.38	▲	40	
手足口病	164 0.05	1 0.03		▼							1 0.17		▽				1	
伝染性紅斑	2610 0.83	96 3.20	78 2.60	▼	29 2.23	23 1.77	▽	2 0.67	3 1.00	▲	3 0.50	1 0.17	▽	62 7.75	51 6.38	▽	174	
突発性発しん	1239 0.39	27 0.90	14 0.47	▽	9 0.69	5 0.38	▽	1 0.33		▽	10 1.67	4 0.67	▽	7 0.88	5 0.63	▽	41	
百日咳	41 0.01																	
ヘルパンギーナ	45 0.01																	
流行性耳下腺炎	3771 1.2	75 2.50	54 1.80	▽	12 0.92	17 1.31	▲	3 1.00	5 1.67	△	30 5.00	23 3.83	▽	30 3.75	9 1.13	▽	129	
眼科定点 (定点医療機関数)			(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	9 0.01																	
流行性角結膜炎	689 1.01	3 0.38	3 0.38		3 0.75	3 0.75											6	
基幹定点 (定点医療機関数)			(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	55 0.12																	
クラミジア肺炎	9 0.02	1 0.10		▽	1 0.25		▽										1	
マイコプラズマ肺炎	429 0.91	3 0.30	1 0.10	▽	2 0.50	1 0.25	▽							1 0.33		▽	4	
細菌性髄膜炎	10 0.02																	
無菌性髄膜炎	15 0.03	1 0.10		▽										1 0.33		▽	1	

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1		1		
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	1			1	肺炎球菌ワクチン接種歴:1回有り(1名)、不明(1名)
急性脳炎	患者	1				小児。病型:インフルエンザウイルスA
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者				1	第1週追加報告分。
A型肝炎	患者	1				第1週追加報告分。推定感染地域:山形県

<通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	1	2	7	3	7	9	12	10	5	2	6	20	1	2	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									合計
	6	5	4	6	4	1									113
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		3	4												7
咽頭結膜熱	1		5	2	3	1	3	1	1						17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	4	19	22	27	29	25	22	12	22	5	6	196
感染性胃腸炎	5	24	63	28	23	27	19	16	15	10	10	46	7	7	300
水痘	1	1	4		1	1	2		2						12
手足口病															0
伝染性紅斑		1	7	4	5	19	16	14	3	3		5		1	78
突発性発しん		6	6	2											14
百日咳															0
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎			3	1	7	11	8	13	6	2		2	1		54

<平成27年12月 月報>

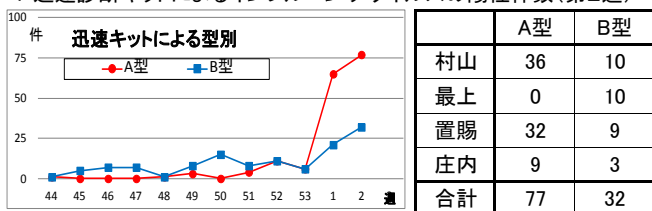
2016年1月19日更新

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～12月	
	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	22	12	7	4	3	5	4		8	3	222
	定点当り	2.20	1.20	1.75	1.00	3.00	5.00	2.00		2.67	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	4	8		2	1	3	3	2		1	86
	定点当り	0.40	0.80		0.50	1.00	3.00	1.50	1.00		0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	1	1		1	1						31
	定点当り	0.10	0.10		0.25	1.00						
淋菌感染症	報告数		2		1				1			25
	定点当り		0.20		0.25				0.50			
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	7	2			2				5	2	60
	定点当り	0.70	0.20			2.00				1.67	0.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	25	18	12	7	4	1	2	2	7	8	287
	定点当り	2.50	1.80	3.00	1.75	4.00	1.00	1.00	1.00	2.33	2.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											3
	定点当り											

<トピックス>

【インフルエンザ情報】

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第2週)



2 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第2週)

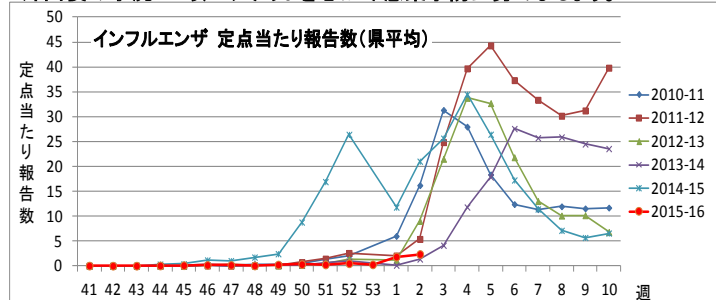
村山地区: 中山町 1件(幼稚園 1)

3 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 1月6日現在)

今シーズンの県内の患者から、AH1pdm2009 3株、B型 9株が分離同定されています。

※例年、1月以降に患者数が増加します。

外出後の手洗い・咳エチケットを心がけ感染予防に努めましょう。



【伝染性紅斑(リンゴ病)情報】

伝染性紅斑の定点あたり報告数が、村山地区、庄内地区で警報レベルとなっています。

- ・伝染性紅斑
警報開始基準値: 2人 警報終息基準値: 1人
- ・第2週 定点あたり報告数
村山地区: 1. 77人 最上地区: 1. 00人
置賜地区: 0. 17人 庄内地区: 6. 38人

伝染性紅斑とは

ヒトパルボウイルスB19というウイルスに感染することによっておこる感染症です。主に小児にみられる疾患ですが、成人もかかる場合があります。

【症状】10～20日の潜伏期間の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ(写真1)、続いて手足にもレース様の発疹が現れます。多くの場合、頬に発疹が現れる7～10日位前に微熱や風邪の様な症状がみられます。この時期に感染力が最も強く、発疹が現れた頃には感染力はほぼ消失しています。

予後は通常良好ですが、妊婦が感染した場合、胎児水腫または流産を起こすことがあるので注意が必要です。

【予防法】伝染性紅斑にはワクチンはありません。また、感染力のある時期には特徴的な症状を示さないため、日頃からの手洗いが重要です。



写真1: 両頬の発疹
(国立感染症研究所HPより)
※参考URL: IDWR 感染症の話 伝染性紅斑
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k04_23.html